

家庭教育の指針「夢をはぐくむ家庭の元気」集計結果

家庭教育委員会

山口県PTA連合会 家庭教育委員会では、委員さんの所属校（小学校 7 校、中学校 3 校）にアンケートを実施しました。

全 3 2 7 家庭（小学校：179、中学校：148）

		家庭教育の指針を		見えるところに		わが家のやくそくを		チェック表を	
		知っている	知らない	はってある	はっていない	決めている	決めていない	活用している	活用していない
小学校	人	94	85	8	171	111	68	10	169
	%	53	47	4	96	62	38	6	94
中学校	人	72	76	2	146	77	71	1	147
	%	49	51	1	99	52	48	1	99
合計	人	166	161	10	317	188	139	11	316
	%	51	49	3	97	57	43	3	97

<感想>

＝小学校＝

- 小学校に入ってから約束がこの頃少し乱れてきていたので、改めて確認できてよかったです。
- できない約束では意味がないと思い、子どもとよく話し合い、毎日続けられるものを約束しました。家族でのルールやマナーを決めるよいきっかけになりました。
- 口での約束よりは、チェックを行った方が、できたことへの達成感があるようで良かったと思います。
- 約束を決めてなくても困らない。
- わが家なりに家族で地区の行事に参加したり家族で過ごす時間を大切にしています。「家庭の日」だからといって特別チェックしなくてもよいと思い、活用していません。
- 活用しなくても日頃からしていれば自然にできる！！あいさつにしても行儀にしても毎日の行いで身につく！！約束というより、当たり前のことのできる子になってほしい！！親の背中を見て子は育つというように！！親も子どもと一緒に頑張りたい。

＝中学校＝

- このアンケートをきっかけに、家族で話し合い新しくわが家のやくそくを決めました。日頃、仕事の関係で遅くに帰宅したりで夕食の時間がばらばらですが、日曜日だけは全員でそろって夕食を食べ、1週間に起きたことを話すなど、家族の時間を作ろうと決めました。
- 日頃から、いくつか家族の約束事は決めて生活していますが、改めて見直す良い機会になりました。チェック表は使用しませんでした。毎日、夕食の時にでも家族で話ができるよと思います。
- リーフレットやチェック表があるから約束を決めたり、守ったりするのはおかしい。どの家にも、ルールというものはあるはず。このような形ではなく、家庭内の困っている問題などへのサポート体制の充実を図ってほしい。
- 家族のコミュニケーションをしっかりとるように日常しているので、特にありません。
- わが家としてのルールを家族皆、できる限り守ろうとしているので、わざわざチェックしようと思いません。
- 覚えておらず活用していません。中学生になってから、将来の夢については家族で具体的に話をするようになりました。話すことで本人も少しずつ真剣に考えるようになったと思います。